

第 2 3 回 議 会 報 告 会 議 事 録 (要 約)

と き	令和5年 5月20日 (土) 19時～21時
と ころ	河高交流センター
テ ー マ	地域公共交通、地域の課題、議会への要望・意見 等
参加者数	12人 (男 7人 女 5人)
出席議員15名	<ul style="list-style-type: none"> ・中村 龍治 ・大久保 忠義 ・橋本 匡史 ・松本 美和子 ・大城戸 聡子 ・別府 みどり ・廣畑 貞一 ・古跡 和夫 ・大畑 一千代 ・高瀬 俊介 ・長谷川 幹雄 ・岸本 眞知子 ・小川 忠市 ・小紫 泰良 ・藤尾 潔
総記録者	廣畑 貞一



【概況】
 参加者全員が建設的な意見や要望が多く出て非常に活気のあるものであった。
 議員も多く学べる機会でもあった。

発言種別	番号	回答 (意見も含む)
		【議会報告】
		(意見等なし)
		【Aグループ】
意見	①	地域公共交通会議を傍聴した。伝タクや自主運行バス等で、乗客が1.6人増えたと言っているが、これが本当に増えたと言えるのか。費用対効果はどうなのか。
回答	①	ご意見として承っておく。
要望	②	デマンドタクシーの説明をしっかりと欲しい。高齢者の車を降りた後の(付き添いなどの)支援についても検討をお願いしたい。
回答	②	総務文教常任委員会で調査、検討する。

意見	③	コープこうべの移動販売車の購入者が減ってきている。役員の方々の支援で何とか保っているが課題も多くある。
回答	③	ご意見として承っておく。
要望	④	河高地区では、耕作者のご理解、ご協力を得てコスモス祭りに取り組んでいるが、運営資金が大変であるので行政として支援をお願いしたい。
回答	④	議会としても支援の可能性について、調査、研究する。
【Bグループ】		
要望	①	高齢者は目の瞳孔調整が遅いので、国道175号南向き西脇トンネル出口で太陽光に目が眩む。何か対策をお願いしたい。
回答	①	確かに眩しさを感じる。国に対し意見が伝えられるよう検討していく。
要望	②	滝野地域でゴミ出しを行なっているが、種類が多く高齢者に理解が困難。特に月曜のビンと木曜日の硬質プラスチック・不燃物などは難しい。もっと簡単にしてほしい。
回答	②	もう少し簡単にならないか、調査、検討する。
意見	③	議会中継を見ていると難しい文言がたくさん出てきて分かりにくい。もっと、ひらがな調の簡単な言葉を使って欲しい。
回答	③	仕方ないところもあるので、ご理解をお願いしたい。難しくならないように気を付ける。
意見	④	議会中継を見ていると、理事者の答弁が詰まったり、かみ合っていない事があり気になる。
回答	④	ご意見として承っておく。
要望	⑤	福田橋が無くなって、非常に困っている。日常的に利用していたので非常に不便。大門橋のように架け替えをできないのか。
回答	⑤	不便である事は認識している。ご意見として承っておく。
【Cグループ】		
意見	①	移動手段の問題が一番話題になる。 三木市のコミュニティバスは誰でも乗車可能と聞いた。自家用車のような利便性に近い運行システムを検討して欲しい。
意見	②	高齢者で運転免許証を返納したいが、自動車がないと生活が成り立たないのが実態である。公共交通施策が充実しないと免許証返納は難しいのではないか。
回答	①②	ご意見として承っておく。 市は、巡回バスではなく自主運行バスを導入している。今後、利便性を高めるためデマンドタクシーの実証実験を開始するなど、様々な手法を検討し市民の移動手段を検討している。議会としても注視していく。
意見	③	住民は、市へコミバス導入等を要望するばかりでなく、現行の公共交通を利用すれば排ガス削減で地球環境のためになるんだ、と大きな気持ちでどしどし利用すべき。
回答	③	ご意見として承っておく。

意見	④	現滝野中学校の場所に一貫校が出来れば、河高地区の小学生は遠距離になる。徒歩通学も意味はあるが、今の時代は暑さや不審者等で不安だ。
回答	④	東条地域小中一貫校では、通学方法の検証によりスクールバスの運用が3 kmから2 km以上の区域に変更となった。 河高地区がスクールバスの通学の対象かは、この場では返答しかねる。
意見	⑤	市道河高下滝野線の通学路の安全性については、地区からの要望も強い。一般質問への答弁も不十分で納得いかない。（道路対面の水路の危険性、ガードパイプの危険性）
要望	⑥	河高地区の市街地道路は地区北側は整備されている。地区南側も舗装面の修繕を希望する。
意見	⑦	滝野工業団地内からファミリーマートへ下る市道と歩道の舗装面の修繕を希望する。
意見	⑧	県道（河高地区内で播磨中央公園バラ園前付近）の歩道対面の街路樹の除草が不十分である。法面が急で、地区では対応が困難である。
回答	⑤～ ⑧	産業厚生常任委員会で調査を検討する。 産業厚生常任委員会では、市内の道路状況の現地調査を行い、理事者等へ対応を申入れる活動を行っている。
【Dグループ】		
意見	①	伝の助タクシーの利用者が少ないが、ニーズ調査をしっかりと行ったのか。今頃、市民の声を聞いて見直すのはおかしい。
回答	①	そのような声も踏まえ、公共交通の課題として調査、研究する。